

「紀伊半島移住プロモーション事業」これまでの取組

【事業目的】首都圏からの移住・定住を促進するため、同一の半島地域である奈良県・和歌山県・三重県が協働し、スケールメリットを生かし、紀伊半島を1つのエリアとして魅力をPRする移住プロモーションを実施し、情報発信力を高める。

第3ステージ 令和3年度～ with/afterコロナを見据えた紀伊半島における新たな「暮らし方」や「働き方」の提案	
	令和3年度（事務局：奈良県）
総事業費	8,857千円（三県均等負担2,952千円）
内容	<p>(1) ワーケーション体験の実施</p> <ul style="list-style-type: none">・奥熊野（奈良県十津川村・下北山村／三重県熊野市／和歌山県田辺市本宮町）において、エリア横断型のワーケーション体験を実施 参加者10組12名 <p>(2) 地域コーディネーターの育成及び地域間連携・受入体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none">・各エリアでの地域コーディネーターの育成（アテンド同行研修・業務研修・OJT研修等）①奈良県十津川村（役場職員／講師）②奈良県下北山村（役場職員）③三重県熊野市（ゲストハウス運営）④和歌山県田辺市本宮町（ゲストハウス運営） <p>・地域間連携及び受入体制の強化 上記「地域コーディネーター」同士の横の連携強化を図り、各県域を横断する受入体制の構築するため、オンラインにて意見交換を実施（3月16日）</p> <p>(3) SNS等のメディアを活用した情報発信</p> <ul style="list-style-type: none">・各エリア及びエリア横断の紹介Note記事の配信・上記(1)参加者によるSNS(Instagram・Facebook等)の発信・地域活性化webメディア(greens)での記事配信



＜ワーケーション体験＞



＜地域コーディネーター研修＞

「紀伊半島移住プロモーション事業」これまでの取組

【事業目的】首都圏からの移住・定住を促進するため、同一の半島地域である奈良県・和歌山県・三重県が協働し、スケールメリットを生かし、紀伊半島を1つのエリアとして魅力をPRする移住プロモーションを実施し、情報発信力を高める。

第2ステージ 平成30年度～令和2年度 紀伊半島を深く知つてもらい関わつてもらう人を増やす。

第2ステージ 平成30年度～令和2年度 紀伊半島を深く知つてもらい関わつてもらう人を増やす。			
	令和2年度（事務局：和歌山県）	令和元年度（事務局：三重県）	平成30年度（事務局：奈良県）
総事業費	9,734千円（三県均等負担3,245千円）	13,397千円（三県均等負担4,466千円）	13,362千円（三県均等負担4,454千円）
内容	<p>(1) キックオフイベントの開催（online） ・プログラム参加者に対してキックオフイベントを開催 ・各地域関係者と参加者との意見交換を通して、地域滞在のイメージを醸成（11月3日） 参加者20組</p> <p>(2) オンラインイベントの開催 参加者同士で「移住・多拠点居住を考えるきっかけ」や「移住に対しての不安」など、意見交換を実施（計5回） 参加者のべ32組</p> <p>(3-1) 現地滞在プログラムの実施 地域の仕事のお手伝いを通して、地域住民とのコミュニケーションを図り、地域の魅力・課題を認識 和歌山県 田辺市本宮町で実施 三重県 尾鷲市で実施 奈良県 吉野町で実施 参加者12名 ※コロナの影響により、12月下旬～受入中止</p> <p>(3-2) オンラインバーチャルツアーの開催 ・「現地滞在」の代替として、地域の魅力や地域住民を紹介するオンラインツアーを開催 ・地域の特産品に触れ、「現地」を感じてもらうことにより、来訪意欲を醸成 参加者19組</p> <p>(4) 最終報告会の開催 ・現地滞在を通じて「より移住や多拠点居住がしやすい地域になるため」の提案を発表 ・オンラインツアーを通じて「コロナ禍における地域発信を魅力的に発信するため」のアイデアを共有（2月25日） 参加者9組</p> <p><キックオフイベント> (online)</p>  <p><現地滞在></p> 	<p>(1) 首都圏キックオフイベントの開催 ・東京都において「紀伊半島はたらく・くらすプロジェクト」キックオフイベントを開催（10月17日） ・各地域コーディネーターが現地の概要や体験プログラムの内容をPRし、参加者と交流 参加者11名</p> <p>(2) 「紀伊半島はたらく・くらすプロジェクト」の現地開催 「暮らす、働く」を実践し、2拠点居住や副業（兼業）、関係人口を創出する中で「移住」の可能性を探るべく現地プログラムを実施（11月11日～12月6日） 三重県 尾鷲市で実施（11月11日～11月20日） 参加者18名 奈良県 下北山村で実施（11月19日～11月28日） 参加者11名 和歌山県 田辺市で実施（11月27日～12月6日） 参加者15名</p> <p>(3) 首都圏報告イベントの開催 ・東京都において、「紀伊半島はたらく・くらすプロジェクト」output報告会を開催（12月19日） 参加者19名</p> <p><首都圏キックオフイベント></p>   <p><現地体験プログラム></p>  	<p>(1) 週末お試し移住体験ツアーの実施 各県においてそれぞれのターゲット層に応じたモニターツアーを各2回開催 ○奈良県 下北山村 OL・働く女性3名／フリーランス 3名 ○和歌山県 田辺市・白浜町 フリーランス2名 有田市・有田川町・海南市 OL・働く女性3名 ○三重県 松阪市 子育て世帯 3名 亀山市 子育て世帯 4名</p> <p>(2) 紀伊半島カフェイベントの開催 「週末お試し移住体験ツアー」の参加者や先輩移住者が体験談、紀伊半島の魅力を語るイベントを都内で開催（3月9日）</p> <p>第1部 紀伊半島ライフを語り合おう 場所 : tiny peace kitchen 参加者11名</p> <p>第2部 kii Life in Tokyo 場所 : リトル・トーキョー 参加者25名</p> <p>(3) 市民参加型のWEBやSNS等を活用した情報発信 ・「紀伊半島サポートーズ・コミュニティ」立ち上げ ・首都圏、地元住民で紀伊半島の魅力発掘隊を育成するスクーリング（養成塾）の開催 奈良県 下北山村で実施（12月15日） 参加者28名 和歌山県 田辺市で実施（1月19日） 参加者44名 三重県 尾鷲市で実施（1月26日） 参加者17名 首都圏「紀伊半島魅力発掘サミット」の開催（3月2日） 参加者29名</p> <p><週末お試し移住体験ツアー></p>  <p><カフェイベント></p> 

「紀伊半島移住プロモーション事業」これまでの取組

【事業目的】首都圏からの移住・定住を促進するため、同一の半島地域である奈良県・和歌山県・三重県が協働し、スケールメリットを生かし、紀伊半島を1つのエリアとして魅力をPRする移住プロモーションを実施し、情報発信力を高める。

第1ステージ 平成27年度～29年度 紀伊半島の移住に関して認知度を向上させるためのプロモーション

	平成29年度（事務局：和歌山県）	平成28年度（事務局：三重県）	平成27年度（事務局：奈良県）
総事業費	14,507千円(三県均等負担4,836千円)	14,641千円(三県均等負担4,880千円)	14,885千円(三県均等負担4,962千円)
内容	<p>(1)WEBを中心としたメディアミックスによる情報発信 • asoview !での移住×体験特集ページ開設 • 趣味&仕事を両立した新たなライフスタイルの提案動画の配信 • 「PEAKS」「ランドネ」「NALU」「Discover Japan」での移住者紹介記事掲載</p> <p>(2)首都圏在住の20代～30代をターゲットとした「しごと」や「働き方」をテーマにしたイベントの実施 ①渋谷キャストでのトークショーアイベント（1月20日/参加者44名） • テーマ「人生を謳歌する為の移住」 • 趣味誌の編集部員と趣味がきっかけで移住に至った方のトークイベント • 紀伊半島の食材を生かした、投弾者・来場者との懇親会</p> <p>②渋谷キャストでのトークショーアイベント（2月24日/参加者43名） • テーマ「紀伊半島でみつけた、自分らしい仕事と働き方」 • 地域的魅力を生かした働き方、またフリーランサーの移住者トークイベント • 紀伊半島の食材を生かした、投弾者・来場者との懇親会</p> <p style="text-align: right;">トークセッション参加者数 のべ87名</p>  <p><趣味雑誌></p>  <p><動画制作></p>  <p><移住者トークイベントの様子（渋谷キャスト）></p>	<p>(1)紀伊半島地域で「働く」ことをテーマとした企画の実施 • 東京在住のクリエイターに紀伊半島での暮らしを体験してもらうモニターツアーの実施及び発信</p> <p>(2)紀伊半島地域での働き方や暮らし方などを専門誌やインターネット等複数の媒体でPR • 雑誌『Discover Japan』11月号、1月号、3月号での紀伊半島での暮らしを体験してもらうモニターツアーに関する記事掲載 • 雑誌『ランドネ』3月号での三県移住者に関する記事掲載 • 『Discover Japan』ウェブサイト内特設ページ、フェイスブックでの情報発信 • 抜き刷り冊子制作</p> <p>(3)都内の飲食店等における一定期間の移住プロモーション事業の実施 ①渋谷シティラウンジでのプロモーション（2月6日～3月14日） • 紀伊半島の移住者の日常を捉えた写真を中心に店内装飾（パネル展示・ランチョンマット等）を実施 • 紀伊半島の食材を使用したメニューの提供（提供例：紀伊半島3種のごちそう丼セット） • 三県移住者及び三県へのモニターツアー参加者によるトークイベント開催（3月4日/参加者60名）</p> <p>②丸の内ハウス内3店舗（MUSMUS・来夢来人・TIKIBAR）でのプロモーション（2月20日～3月5日） • 紀伊半島の移住者による3県の魅力発信ポスター等の掲載 • 紀伊半島の食材を使用したメニューの提供（提供例：紀伊半島ばかり蒸しセイロごはん） • 三県移住者トークセッション等のイベントの開催（3月1日/参加者31名）</p> <p style="text-align: right;">トークセッション参加者数 のべ91名</p>  <p><抜き刷り冊子> <ランチメニュー> (渋谷シティラウンジ)</p>  <p><移住者トークイベントの様子（MUSMUS）></p>	<p>(1)渋谷シティラウンジ店舗連動型イベントの実施 ①渋谷ロフト2階「渋谷シティラウンジ」にてPR（1月5日～1月31日） • パネル展示・ランチョンマット等による店内装飾 • 紀伊半島エリア食材を使った料理提供 提供例：紀伊半島のごちそうプレート （三重県伊勢まだいの岩塩グリル、和歌山県めはり寿司・紀州うめ鶏のエスカベッシュ、奈良県いちごマカロンを盛り合わせたプレート）</p> <p>②三県移住者によるトークセッション（1月30日／参加者98名）</p> <p>③渋谷ロフト1階「間坂ステージ」での特産品等展示・販売（1月13日～1月27日） • パネルやパンフレット等の情報媒体の展示に加え、3県を代表する品々の展示販売も実施 （上記期間中に183点25万円超の売上）</p> <p>④雑誌『Discover Japan』による広報 ⑤抜き刷りパンフレットの作成</p>  <p><雑誌「TURNs」記事></p> <p>(2)三重テラスでの移住者トークセッション（1月23日） ①三県移住者によるトークセッション（参加者35名） ②雑誌「TURNs」による広報</p> <p style="text-align: right;">トークセッション参加者数 のべ133名</p>  <p><間坂ステージ（渋谷ロフト）で販売></p>  <p><渋谷シティラウンジ></p>